

LRXD8-SL

仕様の詳細

表5. 特別仕様の適用

特別仕様	補助記号
つぎ合わせつなぎトラックレール	/A
炭素鋼製ローラ	/CS
逆基準面	/D
トラックレールの取付穴位置指定	/E
検査成績表	/I
トラックレール取付け用ボルト添付なし	/MN
シールなし	/N
複数セットー組 ⁽¹⁾	/WO
グリース指定 ⁽²⁾	/YO

注⁽¹⁾ “/W” の後にセット数を付けて、本数単位でご指示ください。
注⁽²⁾ “/Y” の後に封入するグリースの記号を指示してください。指定できるグリースの詳細については、当社 直動シリーズ総合カタログBLUEをご参照ください。

表6. 補助記号の組合わせ⁽¹⁾

CS	○								
D	○	○							
E	—	○	—						
I	○	○	○	○					
MN	○	○	○	○	○				
N	○	○	○	○	○	○			
W	○	○	○	—	○	○	○		
Y	○	○	○	○	○	○	○	○	
	A	CS	D	E	I	MN	N	W	

注⁽¹⁾ 表中 “—” 印の組み合わせはできません。

支社		
東 部 支 社	〒108-8586 東京都港区高輪2-19-19	Tel. 03-3448-5931 Fax. 03-3449-4589
中 部 支 社	〒454-0004 名古屋市中川区西日置2-3-5	Tel. 052-331-7261 Fax. 052-332-3783
西 部 支 社	〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3	Tel. 06-6532-6341 Fax. 06-6543-1797
東 北 支 社	〒982-0031 仙台市太白区泉崎2-22-22	Tel. 022-307-1415 Fax. 022-743-5341
東 関 東 支 社	〒312-0053 茨城県ひたちなか市外野2-31-13	Tel. 029-275-1356 Fax. 029-275-1422
北 関 東 支 社	〒360-0018 熊谷市中央1-14-3	Tel. 048-528-5851 Fax. 048-525-8911
南 関 東 支 社	〒243-0014 厚木市旭町1-8-6	Tel. 046-228-6011 Fax. 046-228-6068
浜 松 支 社	〒435-0028 浜松市中央区飯田町335	Tel. 053-462-7111 Fax. 053-461-3041
豊 田 支 社	〒472-0005 知立市新池3-62	Tel. 0566-82-6201 Fax. 0566-82-8181
広 島 支 社	〒733-0003 広島市西区三篠町2-4-22	Tel. 082-237-6101 Fax. 082-237-6102
九 州 支 社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-19-1	Tel. 092-471-7971 Fax. 092-472-0079

海外部門		
東 京	〒108-8586 東京都港区高輪2-19-19	Tel. 03-3448-5850 Fax. 03-3447-7637

営業所		
つくば営業所	Tel. 029-895-0585	Fax. 029-895-0586
長岡営業所	Tel. 0258-33-0823	Fax. 0258-35-5036
宇都宮営業所	Tel. 028-651-6633	Fax. 028-651-6744
西東京営業所	Tel. 042-584-6051	Fax. 042-584-6052
松本営業所	Tel. 0263-27-1422	Fax. 0263-27-0797
金沢営業所	Tel. 076-240-1115	Fax. 076-240-0059
滋賀営業所	Tel. 077-567-1655	Fax. 077-567-1701
明石営業所	Tel. 078-275-2058	Fax. 078-913-8555
熊本営業所	Tel. 096-373-0040	Fax. 096-366-7577



IKOウェブサイト
<https://www.iko.co.jp>



メカトロ専用サイト
<https://www.me-iko.com/mecha-tool/index.php>



<https://www.ikont.co.jp/>

●製品の外观・仕様などは、改良のため予告なしに変更することがあります。●本製品を輸出する際は、仕向国及び用途・需要者を確認いただき、客観要件に該当する場合は、輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。
●本カタログは正確を期して制作しておりますが、誤字・脱字等に起因する損害には責任を負いかねます。●無断転載、転用を禁止します。

IKO

New

リニアローラウェイ
スーパーX

LRXD8-SL

高剛性・高精度のローラタイプ直動
案内機器に最小サイズが新登場！



日本トムソン株式会社

リニアローラウェイスーパーXに最小サイズが追加されました。
シリーズ最小でありながら、高い剛性と精度、優れた耐食性を備えています。

構造・特性

IKO リニアローラウェイスーパーX LRXD8・・・SLは同シリーズ最小の直動案内機器です。
ローラタイプの特長である高い剛性と精度を維持しつつ、幅16mm、高さ11mmの低断面を達成しました。
本製品の採用により、設備の小形化・設計自由度の向上が期待できます。
ぜひ ご検討ください。

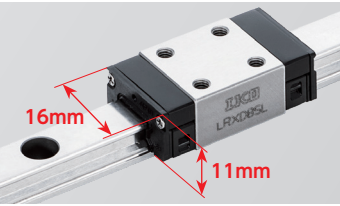


表1. 形式と大きさ

形状	スライドユニットの長さ	形式及びスライドユニット長さ (ステンレス鋼製)	大きさ ⁽¹⁾						
			8	10	12	15	20	25	30
LRXD ブロック形下方向取付け	ショート	LRXDC・・・SL	—	—	☆	☆	☆	☆	☆
	スタンダード	LRXD・・・SL	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	ロング	LRXDG・・・SL	☆	—	☆	☆	☆	☆	☆

注⁽¹⁾ ステンレス鋼製のラインナップになります。詳細については、当社 直動シリーズ総合カタログBLUEをご参照ください。

呼び番号

LRXD	G	8	C1	R160	SL	T1	P	/	CS
1	2	3	4	5	6	7	8		9

1 形式

形式	
LRXD	リニアローラウェイスーパーX ブロック形下方向取付け

2 スライドユニット長さ

スライドユニット長さ	
無記号	スタンダード
G	ロング

3 大きさ

大きさ	
8	

4 スライドユニット個数

スライドユニット個数	
CO	1本のトラックレールに組み合わせるスライドユニットの個数を指定します。

5 トラックレール長さ

トラックレール長さ	
RO	トラックレールの長さをミリメートルの単位で示します。詳細は、次ページの表2. トラックレールの標準長さおよび最大長さをご参照ください。

6 材料の種類

材料の種類	
SL	ステンレス鋼製

7 予圧量の大きさ

予圧量の大きさ	
無記号	標準
T ₁	軽予圧

8 精度の等級

精度の等級 ⁽¹⁾	
H	上級
P	精密級
SP	超精密級
UP	超超精密級

注⁽¹⁾ 精度等級の詳細は、次ページの表3. 許容差及び許容値をご参照ください。

9 補助記号

補助記号の詳細は、巻末の表5. 特別仕様の適用及び表6. 補助記号の組合わせをご参照ください。

仕様の詳細

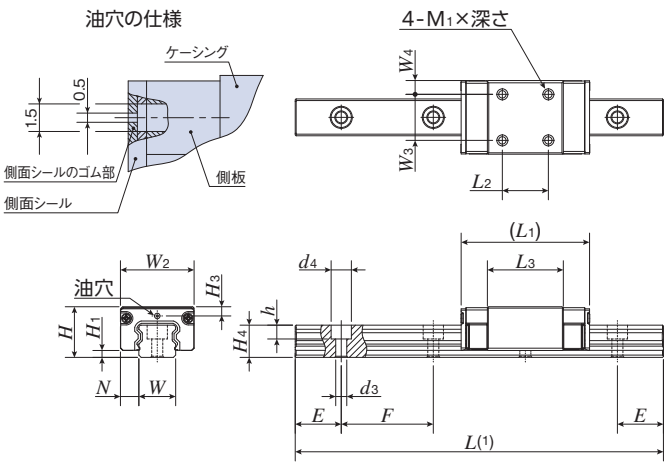
表2. トラックレールの標準長さおよび最大長さ

単位 mm

項目	呼び番号	LRXD8・・・SL
標準長さ ⁽¹⁾ L(n)		40 (2)
		80 (4)
		120 (6)
		160 (8)
		200 (10)
		240 (12)
		280 (14)
取付穴ピッチ F		20
E		10
Eの基準寸法	以上	4.5
	未満	14.5
最大長さ ⁽²⁾		480 (1000)

注⁽¹⁾ ()内の数値は取付穴の個数を示します。

注⁽²⁾ ()内の長さまで対応が可能です。480mmを超える長さをご要望のときはIKOにお問い合わせください。



注⁽¹⁾ トラックレールの長さLは、表2. トラックレールの標準長さおよび最大長さをご参照ください。

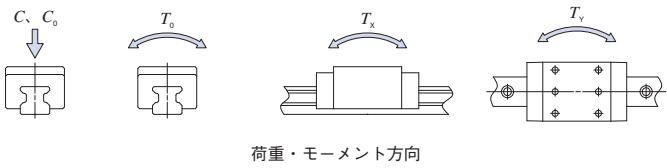


表4. 主要寸法、定格荷重及び定格モーメント

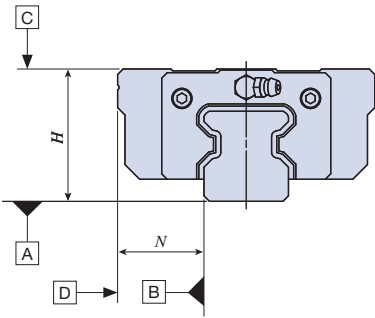
呼び番号	質量(参考)		アセンブリ寸法 mm			スライドユニット寸法 mm							
	スライドユニット kg	トラックレール kg/m	H	H ₁	N	W ₂	W ₃	W ₄	L ₁	L ₂	L ₃	M ₁ ×深さ	H ₃
LRXD8・・・SL	0.014	0.36	11	1.5	4	16	10	3	28	10	16.5	M2.5×2.5	2
LRXDG8・・・SL	0.018								34		22.5		

呼び番号	トラックレール寸法 mm							トラックレール 取付け用 添付ボルト ねじの呼び×ℓ	基本動 定格荷重 ⁽¹⁾ C N	基本静 定格荷重 ⁽¹⁾ C ₀ N	静定格モーメント ⁽¹⁾ ⁽²⁾		
	W	H ₄	d ₃	d ₄	h	E	F				T ₀ N・m	T _X N・m	T _Y N・m
LRXD8・・・SL	8	7	2.9	5.5	4	10	20	M2.5×8	2130	3720	19.7	10.8 72.1	10.8 72.1
LRXDG8・・・SL									2690	5030	26.7	19.5 116	19.5 116

注⁽¹⁾ 基本動定格荷重(C)、基本静定格荷重(C₀)、静定格モーメント(T₀、T_X、T_Y)は、上図の方向の値です。

注⁽²⁾ T_X、T_Yの上段の値は、スライドユニット1個の値、下段はスライドユニット2個を密着したときの値です。

表3. 許容差及び許容値



単位 mm

項目	等級(等級記号)	上級 (H)	精密級 (P)	超精密級 (SP)	超超精密級 (UP)
Hの寸法差		±0.040	±0.020	±0.010	±0.008
Nの寸法差		±0.050	±0.025	±0.015	±0.010
H寸法の相互差 ⁽¹⁾		0.015	0.007	0.005	0.003
N寸法の相互差 ⁽¹⁾		0.020	0.010	0.007	0.003
複数セットの H寸法の相互差		0.035	0.025	—	—
A面に対するスライド ユニット C面の走行時の平行度		図1による			
B面に対するスライド ユニット D面の走行時の平行度		図1による			

注⁽¹⁾ 同一トラックレールに組み込まれたスライドユニット同士の相互差を示します。

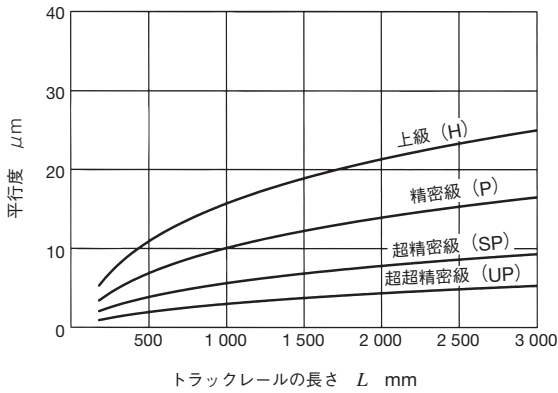


図1. 走行時の平行度